

## 高浜市 A I オンデマンドバスまちづくり共創プラットフォーム

## 事業の基礎情報

実施主体	高浜市
事業実施地域	高浜市（一部、碧南市にかかる予定）
共創の種類	官民共創 ・ 他分野共創
他分野共創の種類	医療・介護・福祉・健康 ・ こども・子育て ・ 商業・農業 ・ エネルギー・環境 ・ 観光・まちづくり
共創パートナー	株式会社アイシン、カネ久タクシー株式会社、まちづくり協議会（5小学校区）、事業者
運行形態	AIオンデマンド交通
運行主体	株式会社アイシン、カネ久タクシー株式会社

## 取組の概要

## （現状の地域課題と事業目的）

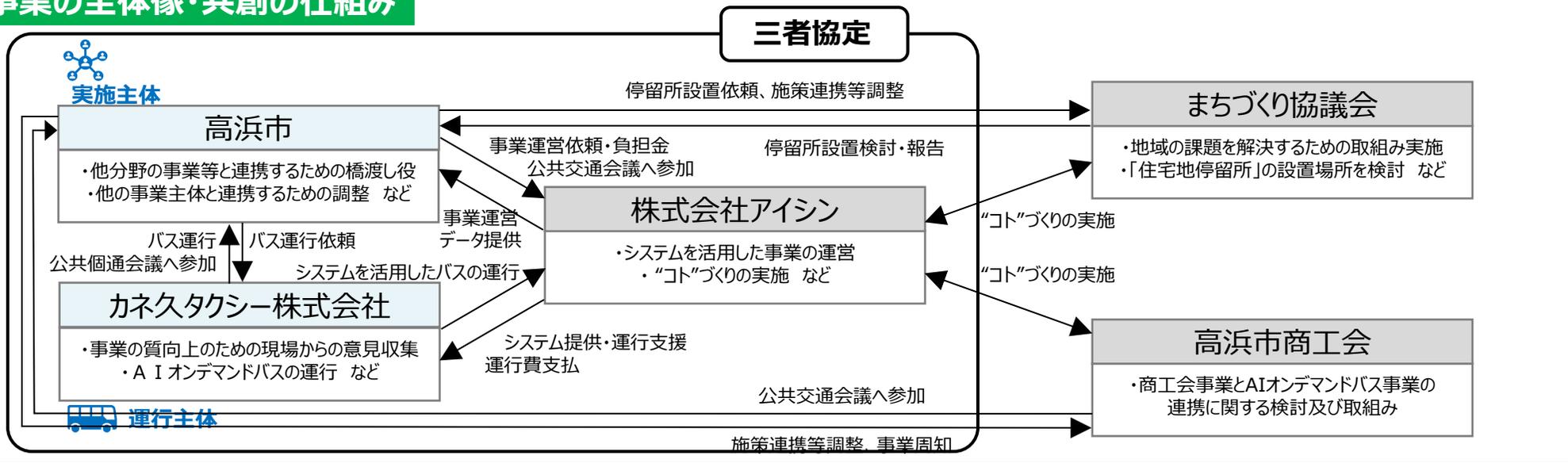
当市においても、2030年から生産年齢人口が減少し、2060年まで高齢化が進展することが分かっており、社会保障費の増加、高齢者の無理な運転による交通事故や運転免許返納によって引き起こる閉じこもりなどが危惧される。さらに、人口減少に歯止めをかけるために、特に若者が「住んでみたい」「子どもを育てたい」と思える魅力的で住みやすいまちと感じてもらうために、既存の子育て支援事業をもっと活用してもらう必要がある。また、新型コロナウイルス感染症の影響による商店の経営状況は、依然として、芳しくない状況が垣間見える。そのため、人の流動性を向上させ市内商店の活性化を図る必要がある。そのような現状を踏まえ、高齢者や子育てやまちの魅力アップに資する施策とデマンドバスが連携することで、コミュニティバスの利便性向上を通じてこれらの施策の利用促進を図ることを目的とする。

## （事業の概要）

介護予防施策等を実施する高浜市と、地域の問題や課題について取り組み、まちづくりを進める各小学校区のまちづくり協議会と、商工の活性化に取り組む高浜市商工会と、コミュニティバスを運行するカネ久タクシー株式会社を、株式会社アイシンが A I オンデマンドシステムや“コト”づくりなどで結び付けることで、単にコミュニティバスの利便性を向上させるだけではなく、様々な施策と連携させ、魅力あふれるまちづくりにつなげる。

高浜市 AI オンデマンドバスまちづくり共創プラットフォーム

事業の全体像・共創の仕組み



取組の詳細

(地域の関係者との連携・協働)

介護予防等を実施する高浜市、地域の課題を解決するまちづくり協議会及び商工の活性化に取り組む高浜市商工会と、バスを運行するカネ久タクシー株式会社を、株式会社アイシンがシステムの導入によりバスの利便性を向上させ市民の移動流動性を高めるとともに“コト”づくりなどで公共交通とまちづくりを結び付けることで、単に利便性を向上させるだけでなく、公共交通を使って、様々な施策をより効率的に実施することができる。

(実証事業により見込まれる効果)

【公共交通における効果※いずれも令和9年9月末時点までの目標】

- ①利用者満足度向上 (34%→60%)、②停留所圏内カバー率向上 (48.9%→100%)、③自主財源確保による事業の持続可能性向上 (スポンサー数0社→20社)、④年間実利用者数の増加 (7,629人→10,728人)

【その他まちづくりにおける効果】

- ・高齢者の外出促進等による介護予防や健康寿命の延伸
- ・市民の移動流動性が高まることによる商店の活性化 など

高浜市AIオンデマンドバスまちづくり共創プラットフォーム

取組の詳細

(事業実施手順・スケジュール)

	令和6年									令和7年			
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
地域公共交通会議 ※必要に応じて開催			■ 地域公共交通会議						■ 地域公共交通会議	地域公共交通会議 ■			
運行形態変更													
運行事業者	実証運行許可(21条)			運輸支局審査・認可									
停留所	申請書作成・提出 スポンサー募集・地域と調整		マップ作成			停留所看板設置		※10月以降もスポンサー募集と停留所設置を随時実施					
周知・PR	広報・HP・LINE・説明会等による事前周知												
実証運行							実証運行			実績報告★			
施策等連携・コトづくりなど													
施策・事業連携		必要に応じて“コト”づくりと連携			高浜市経済環境グループが核となり検討・実施								
コトづくり		必要に応じて“コト”づくりと連携			協賛スポンサーの事業者等と協働で実施								
まちづくり協議会による取組	各小学校区のまちづくり協議会で実施												

(補助事業実施後の予定)

- ・令和7年9月30日まで実証運行を継続
- ・実証運行期間中に、分析検討を行い、改善
- ・本運行への移行、実証運行期間の延長について、高浜市地域公共交通会議で協議
- ・本事業の持続可能性を高めるため、実証運行開始後も協賛スポンサーを随時募集
- ・利用者を増やすためのイベント等との連携促進